

第11回ダムによらない治水を検討する場 説明資料

【議会説明・住民説明会の概要】

平成26年12月19日

国土交通省 九州地方整備局
熊 本 県

「ダムによらない治水を検討する場」の経緯

1

第1回(平成21年1月13日)～第9回(平成23年9月5日)「ダムによらない治水を検討する場」

- 「球磨川水系における治水対策の基本的考え方」について(「直ちに実施する対策」と「引き続き検討する対策」)
- 「直ちに実施する対策」の進捗状況及び実施後の治水の安全性について国から説明
- 今後の議論の進め方について

幹事会の設置

○「直ちに実施する対策」に加え「追加して実施する対策(案)」を検討・議論

- 【第1回(平成23年10月31日)】 遊水地、市房ダムの再開発、川辺川の治水対策等について説明
- 【第2回(平成23年12月21日)】
- 【第3回(平成24年 3月29日)】 } 組み合わせ効果等について説明
- 【第4回(平成24年11月 8日)】 治水対策実施後の治水安全度の説明
- 【第5回(平成25年11月21日)】 治水対策実施後の治水安全度等に関する意見交換

第10回(平成26年4月24日)「ダムによらない治水を検討する場」

- ・幹事会で検討・議論してきた「追加して実施する対策(案)」について国と県から説明
→ 実施後の効果及び治水安全度が結果として全国の直轄管理区間の水準と比べて低くなったことを説明
 - ・防災・減災ソフト対策に対する財政支援を県として行うことを表明
- 上記に関する意見交換

【要望】・「検討する場」の状況について、関係市町村の議会並びに住民に対し説明会を実施願いたい

↓ 議会説明・住民説明会を実施

第11回(平成26年12月19日)「ダムによらない治水を検討する場」

- 議会説明・住民説明会の状況報告等について説明(意見交換)

「ダムによらない治水を検討する場」議会説明・住民説明会の概要 2

- 第10回「ダムによらない治水を検討する場」における流域市町村の要望を踏まえ、各市町村と調整した結果、本年6月から9月にかけて、計6回の市町村議会議員向けの説明と、計10回の地域住民を対象とした説明会を開催した。各説明会の開催日と参加人数については、下記の表のとおり。説明会においては、国、県より「ダムによらない治水を検討する場」における検討状況を説明し、これに対して参加者から様々なご意見をいただいた。

●議会説明（球磨郡議長会主催の勉強会参加も含む）：12市町村延べ168名参加

開催日	市町村議会	参加者数
平成26年6月27日	球磨郡町村議会・人吉市議会	97名
平成26年8月01日	球磨村議会	8名
同上	八代市議会	26名
平成26年8月06日	相良村議会	10名
平成26年8月07日	芦北町議会	14名
平成26年8月29日	錦町議会	13名

●住民説明会：8市町村（10地区）延べ305名参加

開催日	市町村	場所	対象者	参加者数
平成26年8月08日	球磨村	渡多目的集会施設	渡小学校校区住民	36名
平成26年8月18日	人吉市	東西コミュニティセンター	人吉市民	56名
平成26年8月19日	錦町	役場会議室	錦町民	35名
平成26年8月21日	八代市	坂本公民館	八代市民	26名
平成26年8月26日	多良木町	多目的研修センター	多良木町民	20名
平成26年8月28日	芦北町	公民館吉尾分館	芦北町球磨川流域住民	22名
平成26年8月29日	人吉市	カルチャーパレス	人吉市民	28名
平成26年9月02日	相良村	総合体育館研修室	相良村民	28名
平成26年9月04日	あさぎり町	せきれい館	免田・須恵・深田地区住民	13名
平成26年9月24日	球磨村	石の交流館「やまなみ」	一勝地小学校校区住民	41名

主 な 意 見 ・ 要 望 (要 旨)

1. 治水安全度に関するもの

- ・人吉地点の治水安全度が1/5から1/10という低い内容で大変心配している。(人吉市)
- ・安全度がまだまだ低いと思われる。水害常襲地域に住む住民としては、更なる安全度の向上を願う。(人吉市)
- ・高い安全度を求めることがすなわちダム復活になりはしないかという懸念がある。追加して実施する対策が実施されれば、かなり安全度が上がってくる。(人吉市)
- ・長期目標である1/80を下げることなく抜本的な治水対策を望む。(球磨村)
- ・今後も目標とする安全度を下げることなく対応して欲しい。(球磨村)
- ・昭和40年、57年の災害より大きな想定外の雨量があった場合、今回検討した対策案で対応できるのか。より安全度を上げるよう検討して欲しい。(球磨村)
- ・「安全、安心、豊かな村づくり」との思いから、これまでの工事などにも協力してきた。水害の度に惨めな思いもしてきた。改修工事によって景観を害した点も否めないが、今後も安全度を下げずに対策をして欲しい。(球磨村)
- ・100年に一度の洪水であれば、実際には外水氾濫の前に多大な内水氾濫が発生しており、シミュレーションで示す被害より大きくなるのではないか。(八代市)
- ・もっと局地的で短時間の雨なども対象に、あらゆる対策を検討して欲しい。(芦北町)
- ・1/10の安全度の治水対策案しか示せないのは、技術者として恥ずかしくないのか。(多良木町)

主な意見・要望(要旨)

2. 治水対策に関するもの**①全般**

- ・球磨村で堤防・護岸工事が行われているが、人吉市でも実施できる工事に早く着手して欲しい。(人吉市)
- ・自然災害は、計画で設定したとおりにはいかない点をよく考えて欲しい。(球磨村)
- ・ソフト対策は心の準備には役立つが、水害のない安全・安心な暮らしを実現するための施策としてはハード対策が重要だと思う。(球磨村)
- ・人工林を天然林にするなど森林の保水力を高めることも必要だと思う。(錦町)
- ・賛否両論、多種多様な意見があるのはやむをえないが、少しずつでも現実の対策を進めるしかないと思う。(あさぎり町)
- ・昔に比べると川底が上昇している。上流からの土砂の流入に対する対策も検討して欲しい。(相良村)

②築堤・掘削・嵩上げ

- ・早急に対応出来る工事から着工して欲しい。堆積した砂利の撤去、川幅の拡幅、人吉橋左岸の工事に早く着手して欲しい。(人吉市)
- ・水害発生時には、まず道路から浸水する。道路の嵩上げを早急に実施して欲しい。(球磨村)
- ・経験したことがない水害が発生した場合に堤防は大丈夫か心配。(相良村)
- ・直ちに実施する対策については、早急に実施して欲しい。特に土砂撤去を急いで欲しい。(相良村)
- ・堤防の嵩上げを要望する。水の侵入は仕方ないと思うが、土砂や流木の侵入は耐え難い。(相良村)
- ・10年前に嵩上げしてもらったが、最近の増水時は、嵩上げした地面から30cm程度下まで増水している。近年の猛烈な雨の降り方をみると、これまでの嵩上げだけで対応できるのか不安。(芦北町)

主な意見・要望（要旨）

③遊水地

- ・錦町には優良農地が多く存在する。仮にそれらが遊水地となった場合には、どのような姿になるのか不安。（錦町）
- ・今の農地をそのままにしておき、これまでどおり洪水時には溢れてもらって構わない。竹林で濾されて田に入る水はゴミを含まず、1日経てば水も引き稲も大丈夫。遊水効果もあり、下流も助かっているはず。わざわざ買収して遊水地にするなどしないで欲しい。（錦町）
- ・遊水地対象地区の110haは下流の人吉市、球磨村の為にも確保すべき。被害が出た農地だけその年に補償することでどうか。（錦町）
- ・川辺川合流点から上流は樹木が繁茂しているが、川幅が広く遊水地的な所もある。掘削や伐採によって、よどみを残し、遊水効果を発現できるのではないか。（錦町）
- ・遊水地の整備は現実問題として大変。優良農地を遊水地に変えるのはハードルが高い。しかし、遊水地を兼ねた親水公園などの整備なら可能ではないか。（錦町）
- ・遊水地を建設するためには地権者が貴重な農地を手放すことになる。実施にあたっては、地域住民の理解を得るべく相当な努力をしなければ、なかなか受け入れられないのではないか。（多良木町）
- ・球磨川の河川敷等が藪化しており、遊水地の議論の前にまずこれらを伐採・掘削しないと、理解が得られないのではないか。（あさぎり町）
- ・自分の地区では「遊水地はごめんだ」と言っている。考慮して欲しい。（相良村）
- ・遊水地が整備できる可能性とその妥当性については、よく分からない。（人吉市）

主 な 意 見 ・ 要 望 (要 旨)

④環境等に関するもの

- ・球磨川、山田川、万江川、全体にヨシ、雑草が多く、景観にも悪いので定期的に整備して欲しい。(人吉市)
- ・球磨川が排水路のようになっている。昔の瀬を復活して欲しい。(人吉市)
- ・護岸整備を行う際には、景観や生態系に配慮して欲しい。(八代市)
- ・国として加藤清正ゆかりの「八の字堰」に着目して事業を行っていることはとてもよい。(八代市)
- ・自然の摂理を無視することなく、昔の球磨川本来の姿に沿った河川工事を実施して欲しい。(八代市)
- ・環境面を考えると、川にやさしい川づくり、ひいては、ダムが1つもない川づくりに努めて欲しい。それこそがダムによらない真の日本一の川として、流域住民が誇りにできるものになる。(八代市)

⑤市房ダムに関するもの

- ・ダムの放流をより早期に行い、ダムの容量を更に空けておけば、より河川の水位を低くできるのではないか。(あさぎり町)
- ・ダム下流の支川を含めた雨量予測の精度は上がっていると思う。過去の水害時の出水量を踏まえ、より良いダム放流の対応をお願いしたい。(球磨村)
- ・市房ダムから放流されたことを芦北町ではなく球磨村のサイレンや放送で知る状態である。芦北町で市房ダムの放流を周知することは、すぐにできると思う。(芦北町)
- ・農民としては非常に大事な水なので、水を蓄えてもらいたい。(錦町)

主な意見・要望（要旨）

⑥その他の治水対策等に関するもの

- ・川辺川ダム地点付近より八代市坂本付近に向けてトンネルを掘削し、洪水をバイパスしてはどうか。(錦町)
- ・昭和40年、昭和57年の洪水で浸水しており不安。地下地区及び山口谷地区へのポンプ設置、もしくは球磨川河道内の土砂撤去を要望する。(球磨村)
- ・球磨川本川の水量が大きいことが影響して、支川が堰止められ、水位が上昇して水害が起きている。(芦北町)
- ・瀬戸石ダムの堆砂は問題。国においては、堆砂を撤去するよう監督・指導して欲しい。(八代市)

3. 地域防災(ソフト対策等)に関するもの

- ・河川の監視カメラをパソコンで利用している。雨量、水位データも防災上有意義に活用している。今後も改善を図り、住民に利用しやすいシステムの構築を望む。(球磨村)
- ・現在の気候を考えると、ハード面で100%守る防災は不可能。より充実したソフト対策を望む。(あさぎり町)
- ・ソフト対策については地域に直結するものなので、優先的に実施して欲しい。(八代市)
- ・緊急時の対策(ハザードマップなど)を早期に作成して欲しい。(八代市)
- ・ソフト対策に対する県の財政支援に関して、10億円は少なく、また10年間も短い。市町村からの提案を待つのではなく、県からも積極的に提案して欲しい。(八代市)
- ・よく理解できた。県の今後の対策、メニューの説明に感謝。今後活用していきたい。(球磨村)
- ・国としても大規模なソフト対策を行うなどの考えはないのか。(多良木町)

主な意見・要望（要旨）

4. 「検討する場」及び「議会説明・住民説明会」等に関するもの

- ・「ダムによらない治水対策」を是非進めて欲しい。(人吉市)
- ・これで良いのかよく分からない。もっと多くの意見を聞きたい。(人吉市)
- ・「検討する場」で議論されている内容について、一定の理解はできた。追加対策を具体的に進めていく中では、住民の意見をしっかりと聞いて欲しい。(人吉市)
- ・「ダム以外の治水対策の現実的手法について、極限まで検討する」という会の目的があるが、説明の内容が5年以上の歳月をかけて極限まで検討した結果なのか呆然とする。セカンド審議会などの場で、より真剣に「ダムによらない治水」を検討して欲しい。(人吉市)
- ・具体的な数字を用いるなど、分かり易い説明だった。(八代市)

5. その他のご意見

- ・京都府福知山市が被災したような災害がいつ起こるのか心配でならない。(人吉市)
- ・やる気と予算が必要。(球磨村)
- ・この土地で生まれ70年あまり経った今、ようやく心おきなく生活できることを集落の住民全員が喜んでいる。感謝したい。(球磨村)
- ・上流の雨量が分からないまま、いきなり大出水になるのが不安。(八代市)